

「酒田港大浜海岸における生物多様性(藻場造成)実験」
経過報告書

令和4年3月期

酒井鈴木工業株式会社

報告内容

1. 令和3年度実験計画の実施状況(調査含む)

名 称		2021年										2022年			備 考	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
アカモク幼胚基盤散布、培養	予定	[Blue bar from March to September]														
	実施	[Red bar from March to October]														
種苗の沖出し外洋養殖	予定									[Blue bar from October to February]						
	実施									[Red bar from November to February]						
アカモク母藻取付(大浜海岸)	予定	[Blue bar from March to April]														
	実施	[Red bar in March]														
外洋養殖	予定	[Blue bar from March to December]														
	実施	[Red bar from March to December]														
収穫・加工	予定											[Blue bar from January to March]				
	実施											[Red bar from January to March]				
幼胚採取	予定											[Blue bar from December to March]				
	実施											[Red bar from December to March]				
水中調査	予定	[Blue bar from March to April]							[Blue bar from October to November]		[Blue bar from December to March]					
	実施	3月5日							10月30日		12月29日		3月29日			
	予定															
	実施															
	予定															
	実施															

朱書・・・実施

- 1) アカモク幼胚基盤散布・培養
- 2) アカモク母藻取り付け(大浜海岸)、外洋養殖
- 3) 培養アカモクの沖出し外洋養殖
- 4) 調査・報告
- 5) 収穫・加工、幼胚採取

2. まとめ

3. 2022年(令和4年度)の計画(案)

1. 令和3年度実験計画の実施状況(調査含む)

1) アカモク幼胚基盤散布・培養

計画 令和3年4月～9月

実施 令和3年3月5日

水産研究所に300×300×100h(mm)の培養ブロック10個を提供、アカモク種子を散布後山形県水産研究所水槽内で培養を開始する。

培養状況は4)水中調査内で報告する。



提供した培養ブロック

2) アカモク母藻取付け(大浜海岸)、外洋養殖

計画 令和3年3月～4月

実施 令和3年3月5日

アカモク 20kg 購入大浜藻場海岸実験場所に母藻として設置する。

設置箇所は実験場所の中央部(令和2年設置のFaブロック)5箇所全15個を上部清掃後中央部3箇所にも母藻を設置し、種子着床後の生育を観察する。



清掃後の Fa ブロック

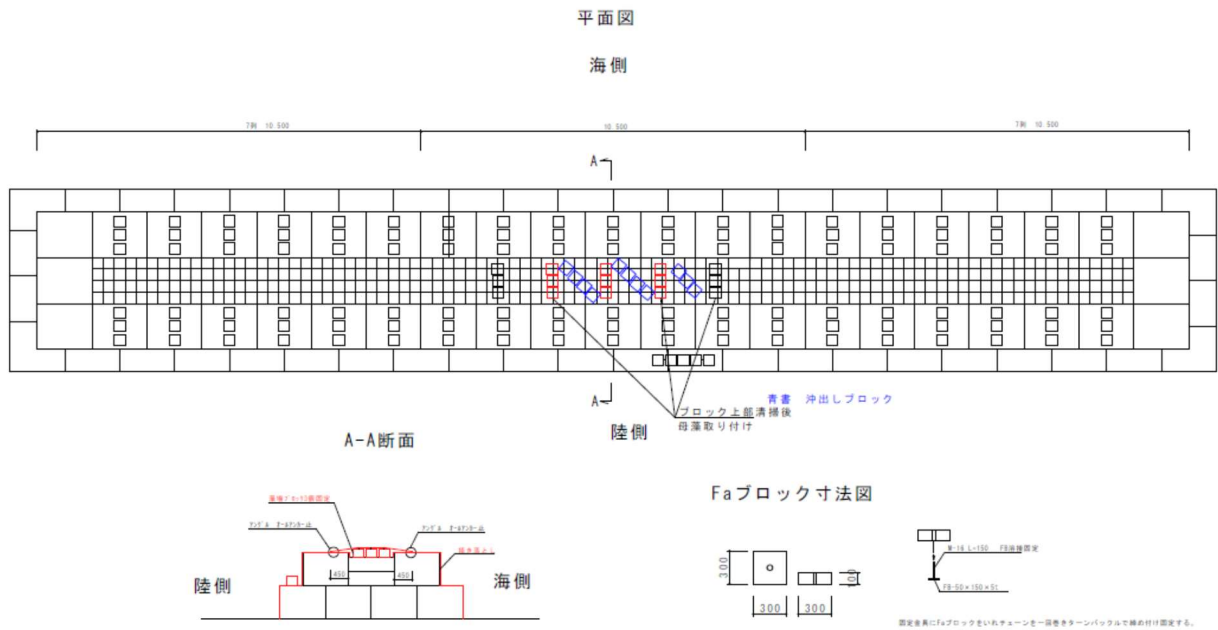
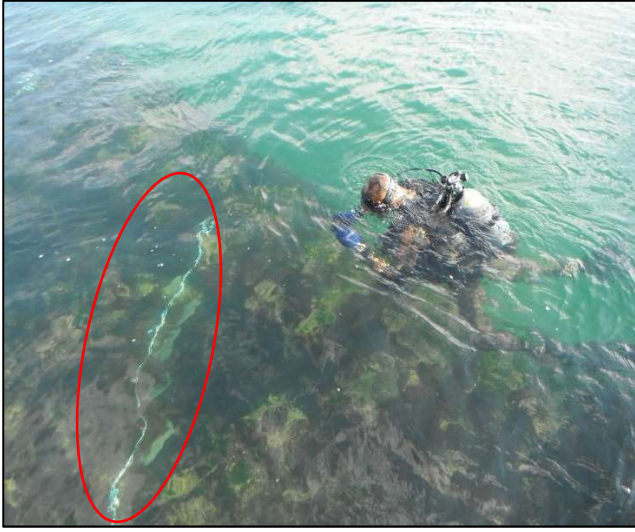


母藻設置後(中央部3箇所)

3) 種苗、水産研究所で培養したアカモクの沖出し(培養ブロックの沖出し)

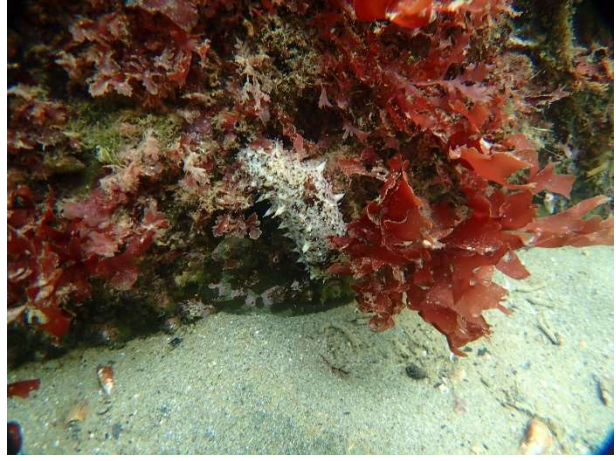
計画 令和3年9月

実施 令和3年10月30日



4) 調査報告 平成3年3月5日 第1回(水中部)

外洋ブロック天端部分及び下方部にもナマコの生息確認、砂浜部分にはクロナマコの生息が確認された。

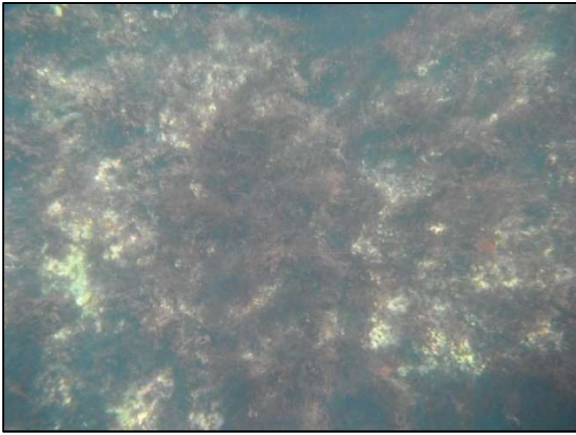


調査報告 令和3年10月18日 第2回(水槽部内の培養ブロック)



水産研究所内培養アカモク状況確認、約10センチ程度に成長している。
(沖出しは10月30日に実施)

調査報告 令和3年10月30日 第3回(水中部)



ブロック天端状況、多年草の藻が繁殖している状況で自然培養のアカモクは確認できない。

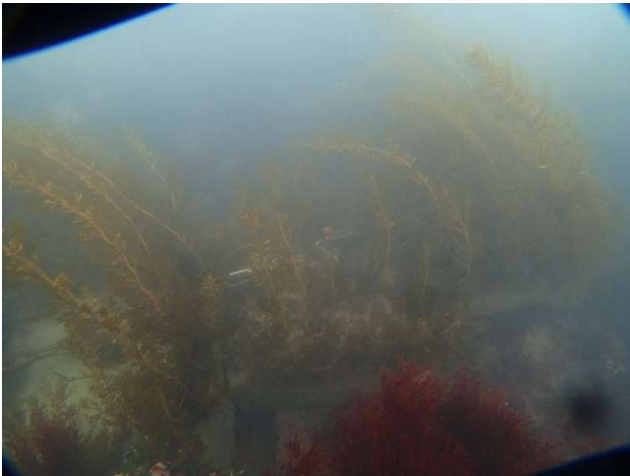
調査報告 令和3年12月29日 第4回(水中部)



左側、沖出し培養ブロックのアカモクは成長しているが外洋養殖用の Fa ブロックにはアカモクは確認できない



同中央部、沖出しブロックのアカモクの成長確認、最大 70 c m まで成長
外洋養殖用の Fa ブロックにはアカモク確認できない



同右側の状況、沖出し培養ブロックにアカモクは確認できるが外洋養殖用の Fa ブロックには確認できない

生物調査

天端部分にアメフラシや巻貝等が確認されるが、ハタハタの産卵等は確認できない。



曇天のため水中が見えづらいが 1.5m程度に成長し群生している。



刈り取り後の状況

